

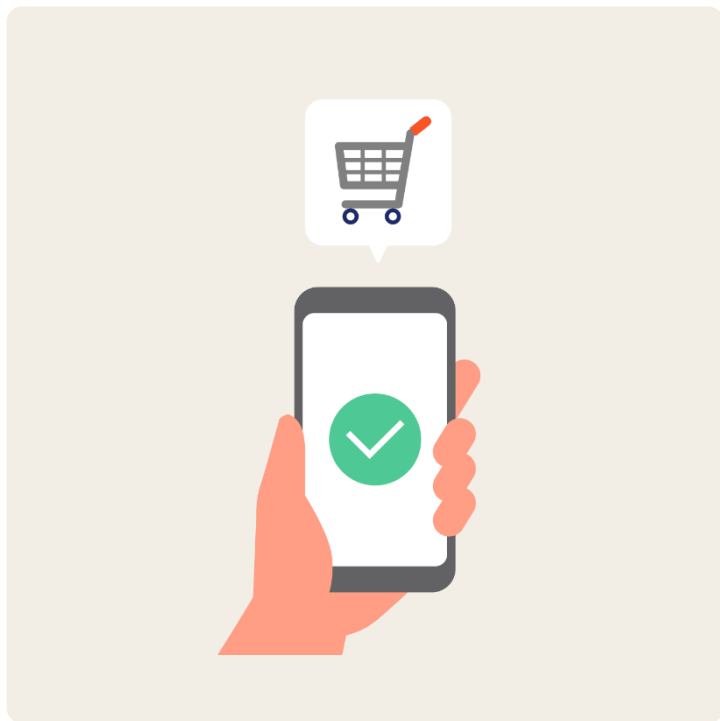
デジタル認証アプリについて

令和6年6月21日

安心・安全の社会の実現のためにオンライン本人確認は必要不可欠

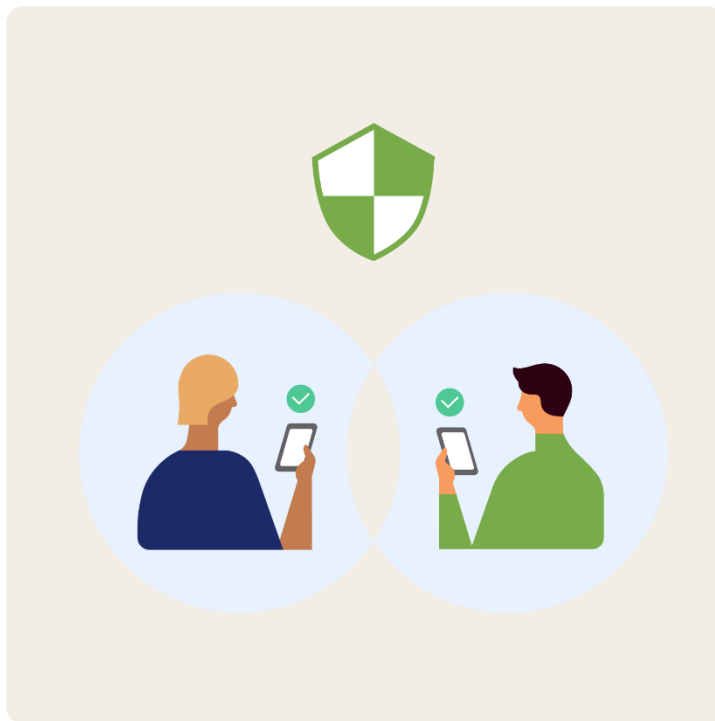
転売目的の買い占め防止

本人確認を行うことで確実にプレミアム商品を
1人1個で販売し買い占めを防止



取引相手とのトラブル防止

本人確認を通しフリマサイトやSNSなど
ネットを空間でのコミュニケーションを安全に



不正ログインの防止

本人確認を行いアカウントにログインすることで
個人情報漏洩と不正利用を防止



どのサービス・どのIDに対しても、スマホで本人の確認を提供



導入予定サービス ※2024年6月時点



横浜市 子育て応援アプリ

「手続きのために区役所に行くのが面倒」「子どもたちにぴったりの近くのイベント情報がほしい」このような子育て世帯のお悩みを解決するためのツールとして、基礎自治体ならではの情報・機能を集約した全国初の子育て応援アプリ

市役所サービス

電子申請



三菱UFJ銀行 スマート口座開設

三菱UFJ銀行の口座開設アプリ。来店・印鑑不要！本人確認書類のご用意があれば、約10分でいつでもどこでもカンタンに普通預金口座開設のお申し込みができます。

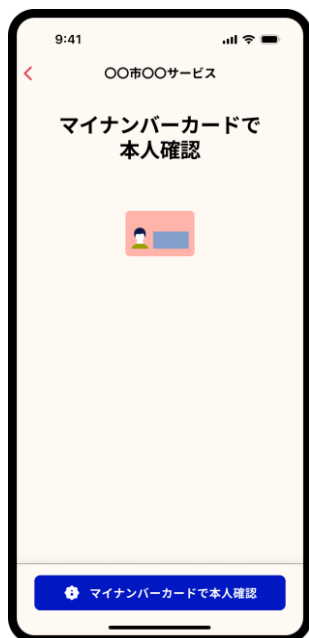
金融サービス

本人確認

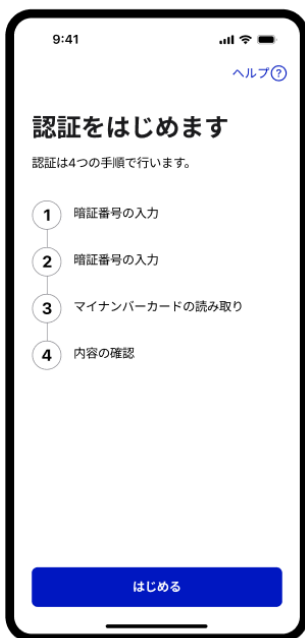
本人確認（認証）の流れ

貴サービス

デジタル認証アプリ



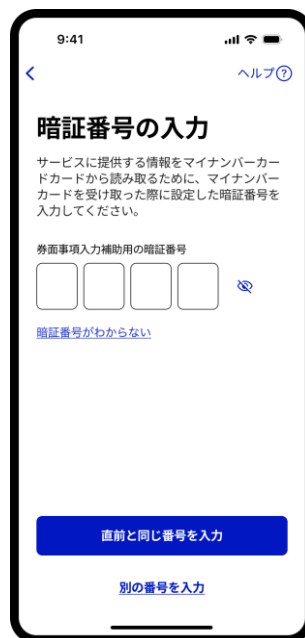
サービス内の
ボタンをタップ



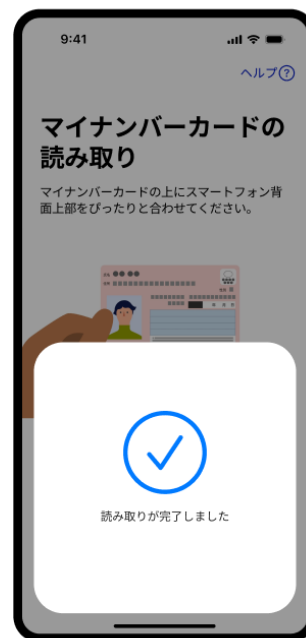
認証手順を確認



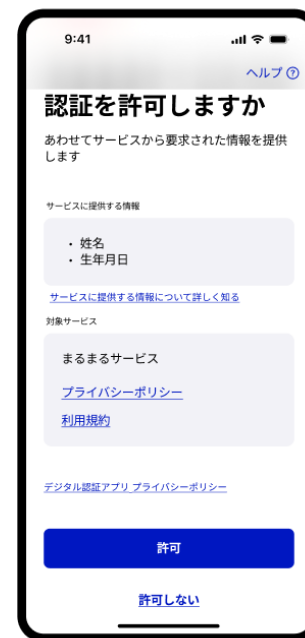
利用者証明用の
暗証番号を入力



券面入力補助用の
暗証番号を入力



マイナンバーカード
を読み取る



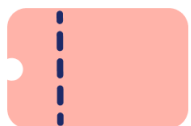
サービスへの
認証を許可



認証完了

デジタル認証アプリサービスAPIの概要

※官民のサービス主体に対してデジタル庁が提供するAPIです



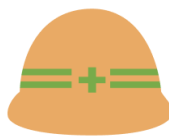
居住者向け地域
クーポン



施設のオンライン予約



ゴミ収集カレンダー



災害対策の連絡



認証API (マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書を用いた認証)

電子利用者証明の検証と利用者証明用電子証明書の有効性確認の結果等を連携
マイナンバーカードの券面事項入力補助APを用いた4 情報連携機能も利用可能
OpenID Connect / OAuth 2.0 により簡易な組み込みが可能

活用例



ECサイトやネットバンキングログイン時の本人確認に



公共施設やシェアリングサービスなどのオンライン予約時に



ライブ会場等での酒類購入時の年齢確認に

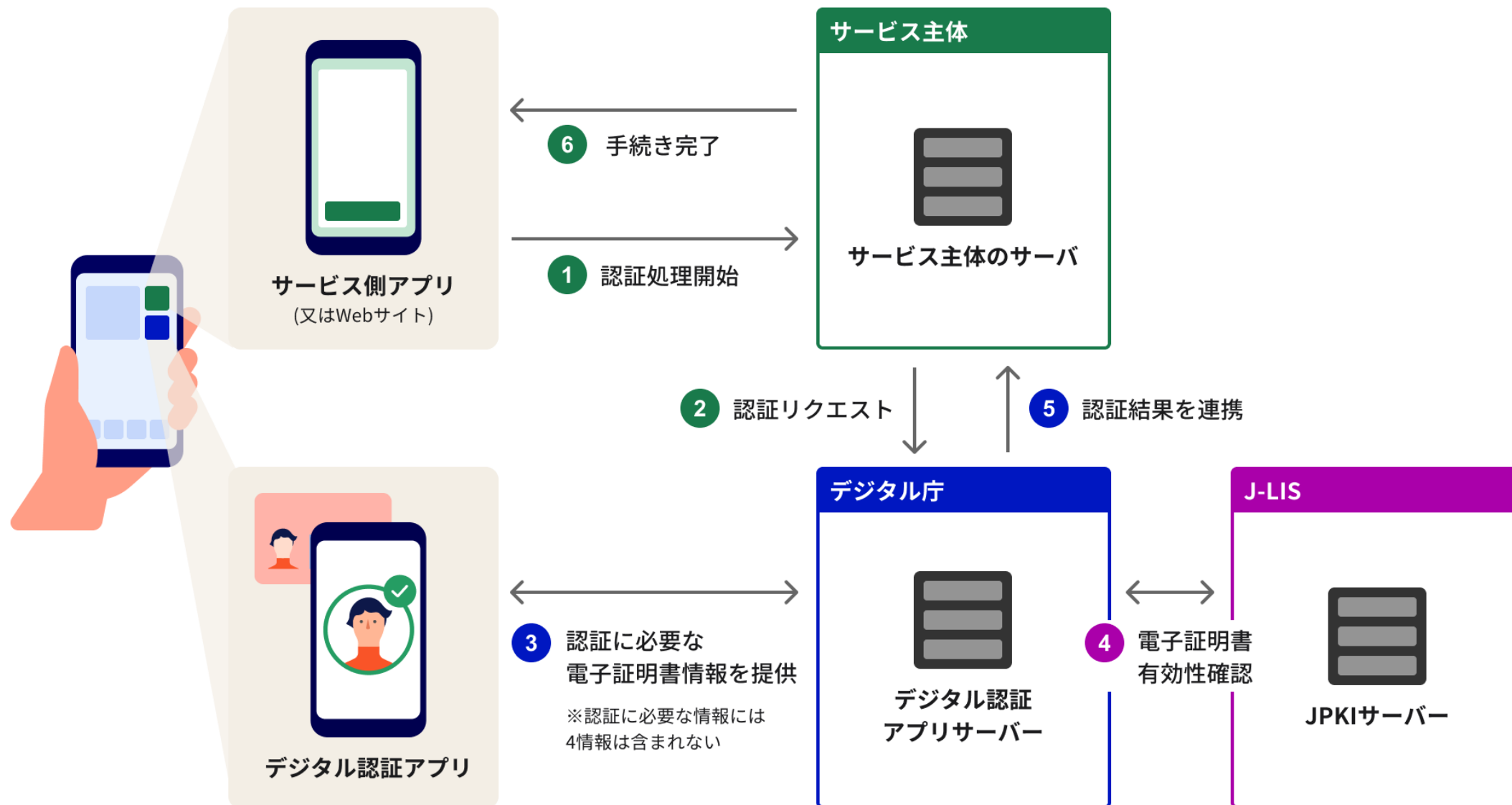


地域アプリ登録時のオンライン本人確認

署名API (マイナンバーカードの署名用電子証明書を用いた署名)

署名値と署名用電子証明書を連携 (認証APIと異なり、電子署名の検証は行わない)
行政機関向けに限り署名用電子証明書の有効性を確認
マイナンバーカードの券面事項入力補助APを用いた4 情報連携機能も利用可能

認証API利用の流れ

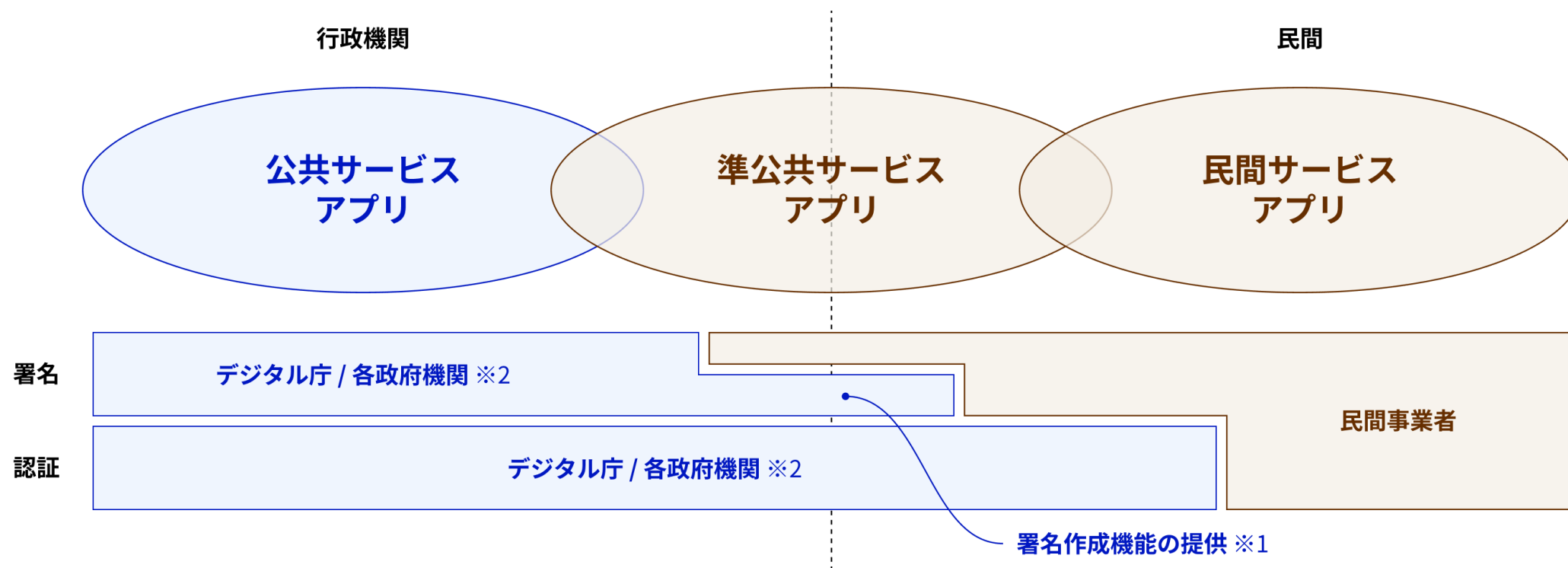


導入までの流れ



デジタル認証アプリのサービス提供領域

これまで、電子署名については、マイナンバーカードの署名用電子証明書を活用したビジネスが拡がり始めていますが、オンラインでの本人確認（認証）については、民間ビジネスでの活用がほとんどなく、その利用が広がっていないため、様々なIDやサービスに対して、本人であるかどうかをオンラインで確認できる「デジタル認証アプリ」を提供することといたしました。本アプリは、本人確認に必要なシステム開発にかかるコストを抑えることができるため、デジタル庁が単独でサービスを提供するだけでなく、様々な自治体や民間事業者のシステムに組み込んで利用していただくことを想定しています。こうした官民連携を通じて、デジタル庁では、デジタル本人確認市場の拡大に取り組んでまいります。



※1 デジタル庁は、希望するユーザーの声があることから、署名作成機能は提供するが、署名検証・有効性確認サービスは提供しない。 / ※2 各政府機関は、委託する形で民間サービスも活用している。

【参考】 サービス詳細情報とAPIドキュメントについて

より詳しい情報は、サービスサイト及びデジタル庁開発者サイトをご確認ください。

サービスサイト

<https://services.digital.go.jp/auth-and-sign/>

The screenshot shows the homepage of the digital authentication service. At the top, it says "デジタル認証アプリ" (Digital Authentication App). The main heading is "マイナンバーカードで本人の確認を簡単に" (Easily confirm your identity with My Number Card). Below this, it states "2024年6月末にアプリの公開を予定しています" (We plan to launch the app by the end of June 2024). There is a navigation bar with "お知らせ" (Notice) and "一覧を見る" (View list). A table of contents is visible, listing items like "アプリの概要" (App Overview), "デジタル認証アプリサービスAPIの利用を検討するみなさまへ" (For those considering the use of the digital authentication app service API), "よくある質問" (Frequently Asked Questions), and "デジタル認証アプリについて" (About the digital authentication app). The "アプリの概要" section is partially visible at the bottom, mentioning that as of April 2024, the My Number Card ownership rate has exceeded 70% and its use is expanding.

デジタル庁開発者サイト

<https://developers.digital.go.jp/documents/auth-and-sign/implement-guideline/>

The screenshot shows the developer site for the digital authentication API. The page title is "デジタル認証アプリ APIリファレンス (民間事業者向け)" (Digital Authentication App API Reference (For Private Businesses)). The page is part of a documentation site with a navigation bar including "ホーム" (Home), "サービス" (Services), "ドキュメント" (Documents), and "デザイン" (Design). A sidebar on the left lists navigation options: "デジタル認証アプリ", "RP向け実装ガイドライン", "APIリファレンス (民間事業者向け)", "APIリファレンス (行政機関向け)", and "デザインガイドライン". The main content area is titled "認可エンドポイント" (Authorization Endpoints) and describes the OpenID Connect implementation. It includes a "QUERY PARAMETERS" section with details for "response_type" and "scope". A table of scopes is provided at the bottom right.

スコープ名	説明
openid	必須。
name	基本4情報取得を要求する場合設定
address	基本4情報取得を要求する場合設定

デジタル庁

Digital Agency